

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



食通の作家、池波正太郎さんは少年時代からなじみがあり、世に於てからも通う東京銀座界隈の店として洋食の「資生堂、パテール」「煉瓦亭」「天ぷらの天國」があった。
昭和五十年代で文庫化されたエッセー「散歩のとき何が食べたか」などにはある。

令和5年2月3日(金)
環境保全委員(愛知県)

煉瓦亭はカツレツなど好んで、いまも煉瓦亭の階段をのぼる時、二階からたまたまさけるうまそうな匂いこそ昭和初期の洋食の匂いにまぎれもない。韓国の尹錫悦大統領がかつて来日した際、店でオムライスを食べたと思ふかあるため、煉瓦亭が飛脚ともいわれる看板メニューの一つである。



夕食の会談では、一年以上途絶えていた首脳同士の相互訪問、後外効との再開で一致したという。
池波波えは資生堂パテールに触れた文で、世の中がめまぐるしく変わっても、変わらぬ味を提供する姿勢を、持統の美徳へと表現している。恐らく老舗のすべてが大事にしてる、酒類だろう。日韓友好も長続きしてこそと思える。



2023/02/03

